

福岡みらい病院で 人工股関節置換術を受けられた患者様へ

当院リハビリテーション科では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。この研究は当院の倫理審査委員会の審査を経て、院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	人工股関節全置換術後患者の非対称性歩行パターンの残存が対側股関節に及ぼす影響
当院の研究責任者（所属）	吉居 啓幸（整形外科） 藤本 泰裕（リハビリテーション科）
本研究の目的	人工股関節全置換術後は、手術した側と手術をしていない側で歩行中の股関節角度や荷重量に非対称性を示します。非対称の歩行により、手術をしていない方の股関節（非手術側）への負荷増大が考えられます。そこで本研究は、人工股関節全置換術を受けた患者様における非対称な歩行パターンの残存が非手術側に及ぼす影響を検討することを目的としています。
調査データ該当期間	西暦 2023年5月1日～西暦 2024年10月31日
研究方法	<p>●調査の対象となる患者様</p> <ul style="list-style-type: none">・2023年から2024年に当院で施行した人工股関節全置換術患者様・歩行補助具を使用しない独歩歩行にて、光学式三次元動作解析装置と床反力計にて計測が可能であった患者様 <p>＜歩行データ＞</p> <p>術後2週時の光学式三次元動作解析装置と床反力計にて得られた歩行データ（股関節角度や荷重量など）</p> <p>＜電子カルテに記載のある診療情報＞</p> <p>診療記録をもとに、術後2週時の身体機能（関節可動域、筋力、痛みの程度）、年齢、性別、手術名、などの情報。</p> <p>上記の情報は匿名化し、後方視的に解析します。</p>
個人情報の取り扱い	対象者のプライバシーおよび個人情報の秘密を守るため、使用するデータは全て匿名化し、個人を特定できないよう配慮しています。使用するデータは、研究責任者のもとリハビリテーション科内で厳重に管理します。保管期間は研究終了後5年間とし、破棄する際はデータを復元不可能な状態に処理して破棄します。
本研究の資金源（利益相反）	本研究の実施にあたり利益相反はありません。 研究参加による謝礼は発生しません。
お問い合わせ先	福岡みらい病院 整形外科・リハビリテーション科 電話：092-662-3001（代表） 研究責任者：吉居 啓幸・藤本 泰裕